

千葉科学大学 防災行動マニュアル



このマニュアルは、大学にいるときに大地震が発生した場合、迅速かつ的確な防災行動が取れることを目的として作成したものです。地震や津波はいつ発生するかわからないので、万が一に備えて、このマニュアルをよく読んでおいて下さい。また、このマニュアルはIDホルダーに入れて常に携帯するようにして下さい。

大学で地震・火災が起きたら

◆ 地震の揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きした場合は、**⇒あわてず、まず身の安全を守る。**

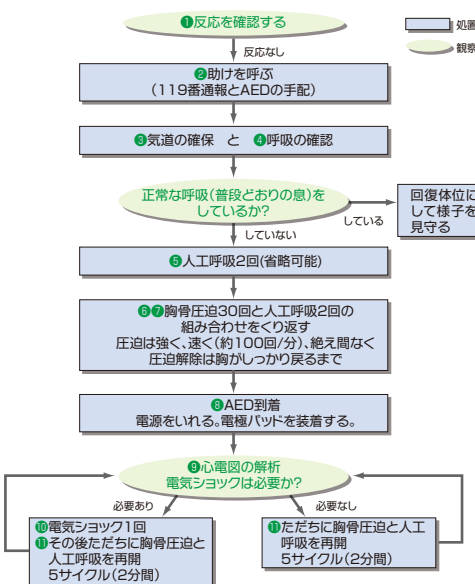
- カバンや衣類などで頭を覆い、落下物に注意する。
 - 机の下などに身を隠す。
 - 窓ガラスの飛散に備えて、窓のそばから離れる。
 - 教職員の指示または学内放送があるまでむやみに室外に出ない。
- ※緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は**数秒から数十秒**しかありません。

◆ 校舎に大きな被害が生じたり、火災が拡大している場合は、**⇒学内の「一時集合場所」に避難する。**

本部キャンパス：**駐車場**
マリナーキャンパス：**グラウンド**
(裏面の地図を参照)

- ※津波が襲ってくる恐れがある場合は、学内の一時集合場所に集まらず、急いで学外の避難場所(安全な高台)に避難する。
- 教職員の指示または学内放送に従って避難する。
- あわてて出口に殺到しない。

応急手当 (呼吸・心臓が停止した場合)



地震ハザードマップ

このマップは、銚子市の直下でM6.9の地震が発生した場合の震度分布です。大学の場所では**震度6弱の揺れ**(東日本大震災での銚子市の最大震度[5強]より強い揺れ)が予想されています。



(出典:銚子市「地震ハザードマップ」)

大学で津波の危険を感じたら

◆ 気象庁より「千葉県九十九里・外房」に、津波警報(大津波警報)が発表された場合は、**⇒本部・マリナーの両キャンパスは、学外の「避難場所」に徒歩で避難する。**

地球の丸く見える丘展望館(駐車場)
(裏面の地図を参照)

◆ 津波注意報が発表された場合は、**⇒海岸に近づかないように注意する。**
※地震発生約3分後に津波警報・注意報が発表される。

- 警報や注意報を入手できない場合でも、強い揺れ(震度4程度以上)又は弱い地震でも長い間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、急いで学外の避難場所に避難する。
- 地震の揺れを感じなくても、警報や注意報が発表されたときは、直ちに海岸から離れ、急いで学外の避難場所に避難する。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報や注意報が解除されるまでは海岸に近づかない(大学に戻らない)。

応急手当 (出血・骨折・ヤケドした場合)

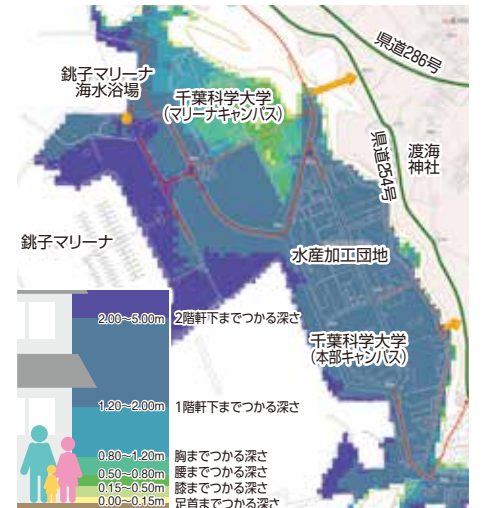
◆ 出血した場合
● ハンカチ、厚いガーゼ、布などで傷口を強く押さえて血を止める。
● 噴き出すような出血の場合は、心臓に近い動脈を指で骨に向かって押さえ、血を止める。

◆ 骨折した場合
● ひざから下の部分を骨折したときは、座布団や毛布などやわらかいものを使って、しっかりと膝から下全体を固定する。
● 腕の骨折は、添え木になるようなものがなければ、雑誌などを丸めて両脇からはさみ込むように固定する。

◆ ヤケドを負った場合
● 小さなヤケドはその部分をすばやく冷却する。水泡を破らないように注意する。
● 衣類の上からヤケドをした場合は、衣類を無理にめくらず、着衣の上から水をかけて十分に冷やす。
● 顔や頭にヤケドをしたときは、ガーゼなどを氷や水で冷やし、その部分にあてる。

津波ハザードマップ

このマップの津波浸水区域は、千葉県が延宝地震(1677年)及び、元禄地震(1703年)についてシミュレーションしたものを基に作成したものです。大学の場所では**5m以上の浸水**が予想されています。



(出典:銚子市「潮見地区ハザードマップ」より抜粋、千葉科学大学にて編集加工)

暴風警報が発令されたら

◆ 暴風警報が発令された場合、学長と協議の上休講とします。ただし、警報が解除された場合、その時刻により、下記のように授業を実施します。

警報解除時刻	授業への対応
午前6時までに解除	平常授業
午前8時までに解除	2時限から授業開始
午前10時までに解除	3時限から授業開始
正午12時までに解除	4時限から授業開始
正午12時以降に解除	終日休講

その他の緊急事態の場合

大雨、津波、火山、地震(地震動)など各現象に対する**特別警報**が発令された場合、数十年に一度しかないような非常に危険な状況になります。周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、大学からの指示がなくても、**ただちに命を守るための行動をとって下さい。**

SOS 安否報告

◆ 大学に安否を伝える(大規模災害が発生した場合)
揺れがおさまって落ち着いたら、ポータルサイトにアクセスして、安否に関する情報(■本人・家族、友人の安否情報(無事、ケガの程度など)、■自宅の被害状況、■連絡の取れる電話番号、など)を報告して下さい。

<https://cisweb.cis.ac.jp/campusweb>

※ポータルサイト(インターネット)を使用できない場合は、裏面の「大学の連絡先」に、電話・メール等で連絡して下さい。

◆ 家族や友人に安否を伝える

大規模な震災時には電話がつながりにくい状態(輻輳)になる場合があります。災害用伝言ダイヤル(固定電話、公衆電話、携帯電話などから利用可)や災害用伝言板サービス(インターネットに接続できるパソコン・携帯電話などから利用可)を使用するようにしておきましょう。

